



2019 年秋季号

まちと政治に
ハートのネットワークを !!

小川りえ子通信



ごあいさつ 温かい心と心がかようまちづくり・・・進めます!!

令和の新時代を迎え、早4か月・・・

皆さまには、日頃より真心からのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今、日本の社会が抱える最大の課題は、人口減少・少子高齢化の克服です。その流れに歯止めをかけ、地域活力をどう維持していくのか。そのためには、まず子育てから高齢者福祉まで支援する『全世代型社会保障』への転換・強化が不可欠です。

公明党は、昨年「子育て」「介護」「中小企業」「防災・減災」の4つのテーマで、全国3千人の議員が地域に飛び込み『100万人訪問調査』運動に取り組みました。現場から寄せられた数多くの声に耳を傾け、小さな声をキャッチし、地方議員と国会議員のネットワークを駆使して課題解決に奔走してきました。

慶応義塾大学・小林良彰教授は「令和時代の政党は『現実を踏まえた政策』を練り上げる能力があるかが問われる。」と指摘しています。『現実を踏まえた政策』---政治に携わる者として肝に銘ずべきと痛感します。

たとえ、小さくとも『変化』を起こすことから、大きな『変革』が始まることを確信し、誠心誠意行動してまいります。

習志野市議会議員 小川りえ子

令和元年台風15号

住民生活に万全を!!



9月5日に発生した台風15号は、県内の広域に記録的な暴風雨による甚大な被害をもたらしました。習志野市においては、市内全域での倒木被害や家屋損壊、一部地域での一時的な停電被害が起きました。

私たち公明党市議団は、9月10日、宮本市長に対し、熱中症対策等市民生活に万全を期すとともに、情報提供等の対策を講ずるよう要望書を提出しました。

県内では、長期化する停電や電力不通による断水の復旧見込みが立たず、今なお多くの住民が避難生活を強いられています。建物の損壊は、全54市町村で確認され、改めて異常気象の数々が浮き彫りになり、自然の怖さを思い知らされました。

生活再建へ難題山積み!!

9月19日、公明党千葉県本部代表・富田茂之衆議院議員は、9市2町の首長とともに首相官邸へ。菅官房長官に対し、復旧作業に国の補助金が上積みされる『激甚災害指定』を求まる緊急要望を行いました。

今後は、国の復旧後押しを受け手厚い支援が行き渡り、1日も早く日常生活を取り戻せるよう、そして『防災・減災』を政治・社会の主流にとの公約実現に、公明党は全力で取り組んでまいります。

— 皆さまの声を实现了ました！ —

四市第2斎場整備計画

『しおかぜホール茜浜』が令和元年10月8日～供用開始！！

(予約は9月28日から受付)



施設について

- ・告別室及び収骨室 各5室
- ・火葬炉15基(当初は12基で開始)
- ・遺体保管庫 12体収容
- ・式場(大) 2室(最大90席)
(小) 2室(最大60席)
- ・待合室、キッズルーム、授乳室等
- ・駐車場 約300台

一般用進入路新設を実現！！

『周辺企業の車両と斎場へ入退場する一般車両で、交通が混乱することを防いでほしい』との要望を受け、市議団として対策を要請し実現する。今後は、信号等、周辺環境の安全対策も要望していく。



今後の課題

公明党市議団として、主要駅からの『交通手段』を強く求めてきた

市としては、路面バスの新規ルート、習志野市コミュニティバスの延伸、マイクロバス等による送迎、タクシー補助等を検討したが、導入費用の赤字が見込まれることから、供用開始時は見送り、今後の利用状況を見つづ検討する。市議団として、斎場利用者の利便性に考慮し、今後も強く求めていく。

香澄小学校・東側交差点の交通安全対策



夜間等、横断歩道を渡る際、周辺が暗いため、照明灯1基を設置。

京成谷津駅・北口前歩道の老朽化対策



茶茶さん前の歩道の凹凸がひどく高齢者の転倒等危険のため舗装。

特養ホーム・サンクレール谷津北側の交通安全対策



歩道の道幅が狭いため防犯灯の移設、車道部の車止めを撤去し白線を引き、歩・車分離を図る。

ご意見・ご要望がありましたらお気軽にご連絡ください。

発行: 小川りえ子後援会 習志野市谷津 5-16-11 TEL & Fax: 047-478-3657 <http://ogawa-rieko.com>

議会: 市議会公明党代表 協働経済常任委員会委員 国保運営協議会会長

地域: 谷津サンプラザ商店会顧問 谷津5丁目第一町会婦人会・フラワーズ相談役 谷津ローズハート倶楽部会員